# 新学術領域・学術変革領域 A 合同「若手の会 2022」

コロナウィルス感染症の拡大で若手研究者同士の交流が減り、研究やそれ以外での情報交換や相互刺激の機会が失われている状況が長く続いています。少しでも若手研究者を活気づけ、彼ら・彼女らの成長につなげたいとの思いで、若手(学生、ポスドク、若手スタッフ)に発表と交流の機会を創出すべく、複数の新学術領域・学術変革領域 A 合同「若手の会 2022」を企画しました。

---

新学術領域・学術変革領域 A 合同「若手の会 2022」
日程：令和4年10月31日（月）から11月2日（水）
会場：SORA-RINKU
〒590-0535
大阪府泉南市りんくう南浜 2 番 201 泉南りんくう公園内

参画領域
・新学術領域「遺伝子制御の基盤となるクロマチンポテンシャル」(代表: 木村　宏)
・新学術領域「全能性プログラム：デコーディングからデザインへ」(代表: 小倉　淳郎)
・学術変革領域 A「DNAの物性から理解するゲノムモダリティ」(代表: 西山 朋子)

---

**登録はすでに締め切りました。**

開催概要：
2 泊 3 日の合宿形式で、若手(学生、ポスドク、若手スタッフ)の口頭発表(40 から 50 演題採択予定)、ポスター発表を募集します。また、優秀な発表にはベストプレゼン賞を授与予定です。また、それ以外にも、大学院進学や若手優遇策などのテーマ別座談会も検討中です。若手には良い実績作り、研究交流の機会となりますので、研究室の若手に積極的な参加を呼びかけていただければ幸いです。
もちろん、若手だけでなく領域関係者の先生方も積極的にご参加いただき、若手の成長を共にサポートいただければと思っています。

暫定参加費：
若手(学生、ポスドク、若手スタッフ)：およそ 5,000 円
若手以外：およそ 10,000 円

(参加費は朝食や入湯税、軽食等になります。各領域からは、宿泊費、昼食、夕食、コーヒー等がサポートされています。)
【重要】交通費は各研究（班員）に支給された領域の科研費をご利用いただければ幸いです。

注意事項：
大学院生やポスドク、若手教員などは原則発表をお願いしたいと思います。相互刺激、実績作り、様々なアドバイスをもらえるチャンスですので、若手の積極的な参加を促していただけますようお願い致します。発表タイトルを記入いただきますが、現時点では「～について」などの仮タイトルで構いません。

「若手の会」はある程度感染症拡大状況が落ちついている時期に開催されることを想定していますが、その時の状況によっては開催形態を変更するなど、適切に対処する予定です。開催の可否や実施形態の変更は少なくとも一ヶ月前にはアナウンスさせていただきます。ご了承いただければ幸いです。

「若手の会」は合宿形式で実施予定です。会場ではマスクの着用、体温測定、手指消毒、会場の最大収容人数のおよそ半分の人数で開催するなどの基本的な感染対策を実施致します。また、参加者には参加日以前および当日の体温・体調等をご報告いただき、少しでも異常の認められる方のご参加はご遠慮いただく予定です。部屋割りは可能な限り同じ研究室や機関でまとまっていただくようにします。

何か気になる点、質問等ございましたら、山縣(yamagata@waka.kindai.ac.jp)または落合(ochiai@hiroshima-u.ac.jp)までご連絡いただければ幸いです。

世話人
近畿大学　山縣　一夫
広島大学　落合　博

# 新学術・学術変革領域合同
# 若手の会 2022

## 凝集（あつ）まれ、若人！
## コロナに負けず！！

若手の発表機会の創出と研究交流を目的に、若手の会を企画しました。若手（学生および若手スタッフ）に口頭またはポスターで発表いただき、交流を図ります！

**開催日程：**
2022 年 10 月 31 日 13:00 ～ 11 月 2 日 12:15

**会場：**SORA りんくう
（大阪府泉南市りんくう南浜 2 番 201 泉南りんくう公園内）

**参画領域：**
ゲノムモダリティ、全能性プログラム、クロマチン潜在能

**世話人：**
ゲノムモダリティ：瀧ノ上 正浩（東京工業大学 ), 鈴木　宏明 ( 中央大学)
全能性プログラム：宮本 圭（近畿大学）, 石内 崇士 ( 山梨大学)
クロマチン潜在能：山縣　一夫（近畿大学）, 落合　博　（広島大学）